



営農情報

INFORMATION



★今月号は私が担当
しました。

営農振興課
営農振興係
岡田 恵一

飼料のしくみ

飼料とは飼料安全法上、家畜等の栄養を補給することを目的として使用されるものを言います。

そして飼料は「濃厚飼料」と「粗飼料」に大別されます。

濃厚飼料は主に大麦、トウモロコシなどの穀類やふすまなどの糟糠（そうこう）類、油粕類などがあり、複数の原料を混合したうえで、粉状やペレット状にした配合飼料の形で家畜に与えられます。

一方、粗飼料とは、牧草や青刈りトウモロコシなどの飼料作物、稲わらなどで作られたもので、特に牛にとって、消化機能を安定させるために不可欠な繊維質が多く含まれています。

また、生草、乾草、乳酸発酵させたサイレージと大きく3種類に

区別されます。

次に代表的な濃厚飼料と粗飼料を紹介します。

なお、一般的に牛には濃厚飼料と粗飼料の両方が与えられますが、豚や鶏には濃厚飼料のみが与えられます。

濃厚飼料

〔トウモロコシ〕

大麦とともに配合飼料に使用される代表的な穀類です。嗜好性が高く、デンプンが多く含まれエネルギー価が高いという特徴があります。加工形態は圧ぺん、粉碎（粉目、中目、粗目）があります。



写真1 トウモロコシ

〔大麦〕

トウモロコシと並ぶ代表的な飼料原料です。通常、圧ぺんまたは粉碎して使用されます。嗜好性が高く、脂肪含量は少ないという特徴があり、硬くて白い脂肪を作る

〔ふすま〕

小麦粉を製造する際に、小麦から約20%程度発生する副産物です。こちらも嗜好性が高いので牛には好適な原料です。当JAでも年間を通して4500袋弱（20kg袋）の取引がある原料です。



写真2 ふすま

〔ビール粕〕

ビール粕は粗たんぱく質が多く、ふすまや大麦などと比べて粗繊維も比較的多いことが特徴です。嗜好性も高いので飼料の摂取量を増加させる等の効果が期待できます。

粗飼料

〔オーツヘイ〕

えん麦を青刈りし、乾燥させたものです。栄養成分も比較的高く、粗剛性があります。甘みもあり、嗜好性が高いとされています。

〔チモシー〕

イネ科の多年草で、栄養バラ

スが良く、栄養価も高い粗飼料です。嗜好性が高く粗剛性もあるため、哺育期から肥育前期まで幅広く使用されています。



写真3 チモシー

〔稲ホールクroppサイレージ〕

WCSとも呼ばれ、稲の子実が完熟する前に、穂と茎葉を同時に刈り取り、細断、サイレージ化した粗飼料です。通常、飼料としては稲穂のみを使用することが多いですが、WCSでは稲わらも含めて全草を利用するため、栄養価の高い飼料を得ることができます。

今回ご紹介した飼料は、ごく一部です。みなさんも家畜と接する機会があれば、飼料に注目してみるのも面白いかも知れません。

※粗飼料が持つ硬さや繊維質による物理的な刺激作用のこと。